

第3号議案

宮城県立高等学校学則の一部改正について

宮城県立高等学校学則（昭和25年宮城県教育委員会規則第33号）の一部を別紙のとおり改正する。

令和元年10月18日提出

宮城県教育委員会教育長 伊東 昭代

宮城県立高等学校学則の一部を改正する規則

宮城県立高等学校学則（昭和二十五年宮城県教育委員会規則第三十三号）の一部を次のように改正する。

別表第一第一号の表宮城県仙台二華高等学校の項中

	二四〇
--	-----

を

--	--

に改め、同

表宮城県泉松陵高等学校の項中

二八〇

を

二四〇

に改め、同表宮城県泉館山高等学校の項から宮城県

宮城広瀬高等学校の項までの規定中

男女	二八〇
----	-----

を

男女	二四〇
----	-----

に改め、同表宮城県仙台東高等学

校の項中

男女	二四〇
----	-----

を

男女	二〇〇
----	-----

に改め、同表宮城県石巻工業高等学校の項中

四〇	八〇
----	----

を

四〇	四〇
----	----

に改め、同表宮城県石巻商業高等学校の項中

男女	二〇〇
----	-----

を

男女	一六〇
----	-----

に改め、同表宮城県塩釜高等学校の項中

三二〇

を

二八〇

に改め、同表宮城

県気仙沼高等学校の項中

二八〇

を

二四〇

に改め、同表宮城県石巻西高等学校の項中

二〇〇

を

一六〇

に改め、同表宮城県黒川高等学校の項中

男女	男女
八〇	八〇

を

男女	男女
四〇	八〇

に改め、別

表第一第二号の表宮城県仙台二華高等学校の項中

二四〇

を

二四〇 二四〇

に改める。

別表第二第一号の表宮城県石巻北高等学校飯野川校の項中

四〇

を

四〇

に

改め、別表第二第二号の表宮城県石巻北高等学校飯野川校の項中

四〇

を

四〇 四〇

に改める。

附 則

この規則は、令和二年四月一日から施行する。

改正後

改正前

第一条～第三十条

（略）

第一条～第三十条

（略）

別表第一（第一条関係）

一 学年制による全日制の課程

別表第一（第一条関係）

一 学年制による全日制の課程

宮城県泉松陵高等学校	普通科	三年	男女	二四〇	二四〇	二四〇	（略）	宮城県仙台二華高等学校	普通科	三年	男女	—	—	二四〇	（略）	学校名	学科	修業年限	男女の別	收容定員		
宮城県泉館山高等学校	普通科	三年	男女	二四〇	二八〇	二八〇		宮城県仙台二華高等学校	普通科	三年	男女	—	—	二四〇		学校名	学科	修業年限	男女の別	学 年 第一	学 年 第二	学 年 第三
宮城県泉館山高等学校	普通科	三年	男女	二四〇	二八〇	二八〇		宮城県仙台二華高等学校	普通科	三年	男女	—	—	二四〇		学校名	学科	修業年限	男女の別	学 年 第一	学 年 第二	学 年 第三

宮城県泉松陵高等学校	普通科	三年	男女	二四〇	二四〇	二四〇	（略）	宮城県仙台二華高等学校	普通科	三年	男女	—	—	二四〇	（略）	学校名	学科	修業年限	男女の別	收容定員		
宮城県泉館山高等学校	普通科	三年	男女	二四〇	二八〇	二八〇		宮城県仙台二華高等学校	普通科	三年	男女	—	—	二四〇		学校名	学科	修業年限	男女の別	学 年 第一	学 年 第二	学 年 第三
宮城県泉館山高等学校	普通科	三年	男女	二四〇	二八〇	二八〇		宮城県仙台二華高等学校	普通科	三年	男女	—	—	二四〇		学校名	学科	修業年限	男女の別	学 年 第一	学 年 第二	学 年 第三

	宮城県気仙沼 高等学校	宮城県塩釜 高等学校	宮城県石巻商業 高等学校		宮城県石巻工業 高等学校		宮城県仙台台東 高等学校	宮城県宮城広瀬 高等学校	宮城県仙台西 高等学校
	普通科	ビジネス科 普通科	総合ビジネス 科	建築科 ム科	電気情報科 化学技術科 土木システ ム科	機械科 三年	普通科 英語科	普通科	普通科
(略)	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年
	男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女
	二四〇	二八〇	一六〇	四〇	四〇	四〇	二〇〇	二四〇	二四〇
	二四〇	二八〇	二〇〇	四〇	四〇	四〇	二四〇	二八〇	二八〇
	二四〇	二八〇	二〇〇	四〇	四〇	四〇	二四〇	二八〇	二八〇

	宮城県気仙沼 高等学校	宮城県塩釜 高等学校	宮城県石巻商業 高等学校		宮城県石巻工業 高等学校		宮城県仙台台東 高等学校	宮城県宮城広瀬 高等学校	宮城県仙台西 高等学校
	普通科	ビジネス科 普通科	総合ビジネス 科	建築科 ム科	電気情報科 化学技術科 土木システ ム科	機械科 三年	普通科 英語科	普通科	普通科
(略)	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年	三年
	男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女	男女
	二四〇	二八〇	二〇〇	四〇	四〇	四〇	二四〇	二八〇	二八〇
	二四〇	二八〇	二〇〇	四〇	四〇	四〇	二四〇	二八〇	二八〇
	二八〇	三二〇	二〇〇	四〇	四〇	四〇	二四〇	二八〇	二八〇

二 単位制による全日制の課程

宮城県仙台二華 高等学校	普通科	（略）	（略）	学 校 名	学 科	修業 年限	男 女 の 別	第一 年次	第二 年次	第三 年次	各 年 次 収 容 定 員
						三年	男女	二四〇	二四〇		

宮城県黒川 高等学校	普通科 機械科 電子工学科 環境技術科	（略）	（略）	学 校 名	学 科	修業 年限	男 女 の 別	第一 年次	第二 年次	第三 年次	各 年 次 収 容 定 員
						三年	男女	四〇	四〇	四〇	八〇

二 単位制による全日制の課程

宮城県仙台二華 高等学校	普通科	（略）	（略）	学 校 名	学 科	修業 年限	男 女 の 別	第一 年次	第二 年次	第三 年次	各 年 次 収 容 定 員
						三年	男女	二四〇			

宮城県黒川 高等学校	普通科 機械科 電子工学科 環境技術科	（略）	（略）	学 校 名	学 科	修業 年限	男 女 の 別	第一 年次	第二 年次	第三 年次	各 年 次 収 容 定 員
						三年	男女	四〇	四〇	四〇	八〇

別表第二(第一条関係)

一 学年制による定時制の課程

学校名	宮城県石巻北 高等学校 飯野川校	学科	普通科	修業年限	四年	昼夜の別	昼	男女の別	男女	收容定員

二 単位制による定時制の課程

学校名	宮城県石巻北 高等学校 飯野川校	学科	普通科	修業年限	四年	昼夜の別	昼	男女の別	男女	各年次收容定員

別表第二(第一条関係)

一 学年制による定時制の課程

学校名	宮城県石巻北 高等学校 飯野川校	学科	普通科	修業年限	四年	昼夜の別	昼	男女の別	男女	收容定員

二 単位制による定時制の課程

学校名	宮城県石巻北 高等学校 飯野川校	学科	普通科	修業年限	四年	昼夜の別	昼	男女の別	男女	各年次收容定員

(略)

別表第三(第一条関係) (略)

別表第四(第一条関係) (略)

別記第一号様式(別記第四号様式) (略)

(略)

別表第三(第一条関係) (略)

別表第四(第一条関係) (略)

別記第一号様式(別記第四号様式) (略)

宮城県立高等学校学則の一部改正の概要について

1 改正の趣旨

令和2年度県立高等学校組織編制計画並びに平成30年度及び令和元年度県立高等学校組織編制計画の実施に伴う所要の改正を行うもの。

2 改正の概要

(1) 令和2年度県立高等学校組織編制計画関係

イ 学年制による全日制の課程（別表第1（第1条関係））

【学級減】

学校名	学科名	第1学年の収容定員	
泉館山高等学校	普通科	1学級40人減	7学級(280人)→6学級(240人)
仙台西高等学校	普通科	1学級40人減	7学級(280人)→6学級(240人)
宮城広瀬高等学校	普通科	1学級40人減	7学級(280人)→6学級(240人)
仙台東高等学校	普通科	1学級40人減	6学級(240人)→5学級(200人)
石巻商業高等学校	総合ビジネス科	1学級40人減	5学級(200人)→4学級(160人)
黒川高等学校	機械科	1学級40人減	2学級(80人)→1学級(40人)

(2) 平成30年度及び令和元年度県立高等学校組織編制計画関係

イ 学年制による全日制の課程（別表第1（第1条関係））

【学級減】

学校名	学科名	第2学年の収容定員	
石巻工業高等学校	機械科	1学級40人減	2学級(80人)→1学級(40人)

【学級減】

学校名	学科名	第3学年の収容定員	
泉松陵高等学校	普通科	1学級40人減	7学級(280人)→6学級(240人)
塩釜高等学校	普通科	1学級40人減	8学級(320人)→7学級(280人)
気仙沼高等学校	普通科	1学級40人減	7学級(280人)→6学級(240人)
石巻西高等学校	普通科	1学級40人減	5学級(200人)→4学級(160人)

【学科改編】

学校名	学科名	第2学年の収容定員	
仙台二華高等学校	普通科	単位制に移行	6学級(240人)→6学級(240人)

ロ 学年制による定時制の課程（別表第2（第1条関係））

【学科改編】

学校名	学科名	第2学年の収容定員	
石巻北高等学校 飯野川校	普通科	単位制に移行	1学級(40人)→1学級(40人)

3 施行期日

令和2年4月1日